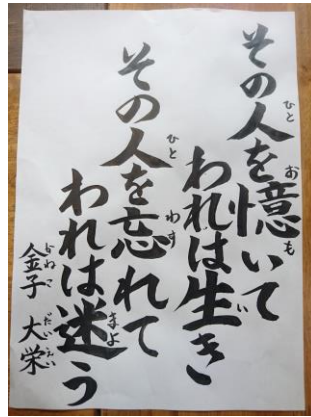


門徒負担金について

毎年ご門徒の皆様には門徒負担金として寺院墓地を使用の方からは一五〇〇〇円、他墓地を使用の方からは八〇〇〇円のご負担をいただいております。これは当寺院の護持費や広く真宗大谷派の布教など寺院運営費として使用し、年に一度の総代会にて会計のご報告をいたしております。今年度も既に多くの方にお振込みいただきありがとうございます。これからもご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

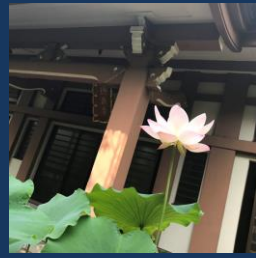
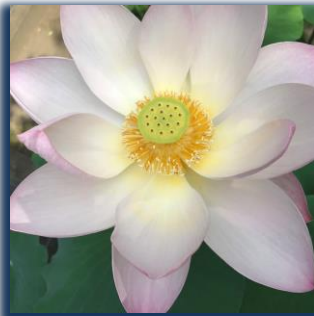
INFORMATION

今月のことば



「憶」は心にとどめて忘れないということ。親鸞聖人七〇〇回御遠忌に「宗祖を憶ふ」と題して読まれたものの一部です。思いを寄せられる人、帰れる言葉というものは私たちにとって大切な道標なのでしょう。

境内の花々



これなあんだ？



こたえは
「手提げ香炉(てさげじゅろ)」

仏さまに手を合わせるとき、香を炊いて心を仏に向ける準備をします。お香の形はお線香やお抹茶など様々ですがその意味合いは同じものです。

徳泉寺ではこの手提げ香炉をお墓参り用に使用いただいています。火の始末などの心配がなく安心してお参りいただけます。庫裏の玄関にお声かけいただき、近況報告などをつかがいながら手渡すなかで交流がうまれることをありがたく思います。

お墓参りの時に
使用するお焼香用の

↑ これ

なんという

名前でしょうか？

九月の同朋会

日 九 月 十 四 日 (第 二 土 曜)
時 間 十 三 時 ~ 十 六 時
場 所 徳 泉 寺 同 朋 会 館
持 ち 物 数 珠 勤 行 本
茶 菓 代 五 〇 〇 円
どなたでも参加できます

『徳泉寺報』後記
蝉しぐれと言いますが今年の蝉はちょっと元気がよすぎて朝4時頃から鳴き始め、一日中その声を響かせました。夏の風物詩として喜ばれましたが暑さと相まってその声中に一日中いるのはなかなか大変でした。